



平成28年度自衛官等採用説明会を実施



参加者に対し挨拶をする募集課長



現職自衛官との懇談

東京地本（本部長・三宅陸将補）は、平成28年7月26日及び8月3日グランドヒル市ヶ谷において、また、7月28日及び8月17日に立川グランドホテルにおいて平成28年度自衛官等採用説明会を実施し、延べ533人の参加があった。

本説明会は、自衛官候補生、一般曹候補生、防衛大学校学生等、秋に実施する各種採用試験の受験対象者・同保護者等を対象に、自衛隊に対する理解の深化及び受験意欲の向上を目的として実施するもので、募集課長（藤田一等陸佐）の挨拶にはじまり、全般説明で自衛隊の活動、自衛官の魅力のほか、各種採用試験の概要について説明した後、陸海空自衛隊の各部隊等で活躍する現職自衛官（リクルータ）及び現役防衛大学校・防衛医科大学校学生との懇談等を実施した。

特に、現職自衛官との懇談においては、参加者から職種や仕事へのやりがいについて積極的に質問が出る等、大変な盛り上がりを見せた。参加者は、日頃耳にする機会が少ない自衛官の仕事内容、勤務環境、普段の生活等の話を興味深く聞いていた。所見には「懇談時に、入隊してからの生活等、普段聞けない話を聞けて大変参考になった」「自衛官の職域が、予想以上に幅広くあることを知り受験意欲が湧いた」等好意的な所見を多数確認することができた。

東京地本は、今後も部隊見学や各種説明会を通して、対象者等に自衛隊の制度について理解を深めて頂くとともに、部隊、父兄会、隊友会等との密接な連携を維持して、秋に実施する各種採用試験に多くの受験者が集まるよう努力していくとしている。

自衛隊と民間との架け橋的な役割に期待 ～東京都自衛隊父兄会教育部隊研修を実施～

本教育部隊研修は、東京都自衛隊父兄会の新規会員を対象に昨年度から実施しているもので、ご子息・ご令嬢の成長を通して自衛隊に対する理解の促進と信頼の獲得を図るとともに、参加会員を通じて近隣の方々に自衛隊の素晴らしさを伝えて頂くことに期待している。今年度は、一人でも多くのご家族に見学して頂けるよう、回数を1回増やし、年間5回の見学を予定している。

部隊研修では、はじめに第1通信大隊教育部隊において、野外通信システムや電話線の敷設における縛着訓練等を見学し、続いて、第1普通科連隊教育部隊にて迫撃砲砲手訓練、小銃班の戦闘訓練を見学した。

特に、真夏の炎天下、重量3.5kgの89kgの式小銃や7kgの5.56mm機関銃を軽快に扱いながら射撃と運動により躍進する小銃班の戦闘訓練を、ご家族がしっかりと見とめていた姿が印象的だった。

小銃班の戦闘訓練実施後に、東京都自衛隊父兄会は、クーラーボックスで保管していた冷たいウエットティッシュを約70個差し入れた。予期せぬ差し入れに隊員は喜び、気持ち良さそうに汗や埃を拭いていた。

また、訓練の終わりに、隊員とご家族が対面する場が設けられ、逞しく成長したご子息と久方ぶりの会話を楽しんでいくようだった。

今年度入隊したご子息をもつご家族からは「暑い中、真剣に訓練に取り組んでいる姿を見ることができ、その成長ぶりに感激しました。また、良い同期の方々にも恵まれ、親として本当に嬉しいです。」との言葉を頂いた。

東京地本は、今後も東京都自衛隊父兄会新規会員の部隊研修等を通じて、会員各位に自衛隊の理解を深めて頂くとともに、自衛隊と民間との架け橋となって頂けるよう努めていくとしている。



小銃班の戦闘訓練



迫撃砲砲手訓練



久方ぶりの対面をはたした親子